

地域リハビリテーション支援センターだより

(神奈川県リハビリテーション支援センター)



地域リハビリテーション連携構築推進事業

今一度知ろう 地域ケア会議における リハビリテーション職の役割と可能性について



第 1 回目 11 月 30 日 (7水) 18:00~20:00 鎌倉商工会議所

令和4年度 神奈川県地域リハビリテーション連携構築推進事業第1弾鎌倉市編の研修会を、鎌倉市役所前の鎌倉商工会議所で2回にわけて開催しました。オンライン(Zoom)によるライブ配信も行いました。

1回目は、地域包括ケアを進めていく中、今一度、リハビリテーション3職種(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)の役割について理解していただくことを目的に講義をしていただきました。

研修会を通し、他職種からその役割を、大いに期待されていることを知る機会にもなったと思います。















合同会社クゴリハ代表 PT 久合田 浩幸 氏、 神奈川県作業療法士会理事 湘南鎌倉総合病院 OT 吉本 雅一 氏神奈川県言語聴覚士会理事 介護老人保健施設 にじの丘足柄 ST 舟橋 庄司 氏、 当支援センター SW 小川 淳 氏



第2回目 12月14日(水) 18:00~20:00 オンライン研修 (Zoom)

2回目は、当初対面による模擬会議を行う計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、受講希望者からオンラインでの実施のご要望を頂き、急遽、オンライン(Zoom)による開催に変更させていただきました。司会進行をお願いしている、前田玲氏と幾度も進行についての打ち合わせをし、開催する事が出来ました。また、特定非営利活動法人かまくら地域介護支援機構のご協力も頂き、時間の制約のある中で、十分な意見交換が出来なかった点もあると思いますが、他職種連携の重要性・必要性について知る機会になったと思います。





司会進行 神奈川県理学療法士会 地域包括ケアシステム推進部 介護老人保健施設 さつきの里あつぎ PT 前田 玲 氏

第2弾は、秦野市にて、

『グループホームにおけるリハビリテーションの可能性について』

というテーマで開催する予定です。

会場参加のほか、オンライン(Zoom)での参加も可能です。みなさまのご参加をお待ちしております!

詳細は当支援センターHPをご確認ください。







褥瘡予防セミナー

医療・福祉・行政関係者・患者/家族等を対象に、褥瘡についての基礎 的な知識(褥瘡の好発部位やその要因)や予防(ケアの方法やポジショ ニングの考え方など)について、講義やデモを通して学びました。













各職種の方が様々な視点でわかりやすくお話しして下さり、即実践に活用できそうな内容で勉強になりました。 受講生の声

神奈川リハ病院 医師 渡辺 偉二、看護師 長堀 エミ、RE 辻村 和見、PT 森田 智之・本田 博基、OT 佐々木 貴

脳卒中の方の就労支援 ~地域の支援ネットワークを活用した伴走型支援を実現するために~

10.29

地域の実情に応じた「伴走型の就労支援」のあり方について、地域支援ネットワークの要を担う支援者 の方々のほか、当事者とご家族にもお話しをしていただきリアルな声を交えながらの研修会となりました。





受講生の声 専門職間の情報共有で知識を高めることも大切 だが、本人や家族の話を聞ける機会も必要だと思いました。

障害福祉なんでも相談室 訪問 R-station 当事者、ご家族 神奈川リハ病院

就労支援員 森 基明 氏 理学療法士 田代 宙 氏 小倉 牧男 氏、小倉 道子 氏

職業指導員 小林 國明、OT 露木 拓将



ポジショニング入門 ~24 時間で姿勢援助を考える~



ベッド上臥位や車いす座位における安定かつリラックスできる姿勢への 支援方法や姿勢の整え方・耐圧分散を促すクッションの差し込み方など、 翌日から実践できる内容の講義を実技中心に学びました。

自分がまず体験することで、伝えるだけでは伝わらないのが 受講生の声 よくわかりました。説明がわかりやすく、あっという間の1日でした!

般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子 氏

知的障がいのある方への 生活支援

知的障がい者を取り巻く現状やリハビリ的な視点から身 体機能の低下に対する対応、日常生活動作能力を維持するた めの工夫など、講義やグループワークにて対応方法の検討・ 情報交換を行いました。









受講生の声 色々な意見を出し合うことで、自分では思いつか ない支援方法も聞けて勉強になり、とても参考になりました。

神奈川県総合リハビリテーション事業団

七沢学園 副園長 能條 尚樹 PT 小泉 千秋、OT 清水 里美 地域リハ支援センター





脳血管障がいの評価と治療

片麻痺の歩行をテーマに、評価の視点と治療技術を、講義やハンドリングを通して学びました。1日を通して実技の時間が多く、実際に体験(体感)することでより理解につながったのではないでしょうか。

受講生の声 職場での実技練習の機会が少ないので、すごく勉強になりました。 触り方の感覚が少し理解できたように思いました!

Fリハビリテーション平塚 PT 藤井 誉行 氏

高次脳機能障がいセミナー ~実務編~

高次脳機能障がいの方に対する「入院から社会参加に至るまでの経過に沿ったリハビリテーション」を テーマとして、各専門職の立場からアプローチのヒントについて、講義を通して学びました。





受講生の声 時間やプログラムもちょうどよく、各職種の実際の臨床を交えたお話しをうかがうことができ、勉強になりました。ありがとうございました!

神奈川リハ病院 医師 青木 重陽、OT 髙橋 大樹、PT 有馬 一伸、心理 山岸 すみ子、職業指導員 進藤 育美、SW 瀧澤 学



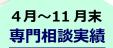
高次脳機能障害学会学術総会



2022 年 12 月 2 日(金)3 日(土)、山形県山形市で第 46 回日本高次脳機能障害学会学術総会が行われました。「感じる高次脳機能」をテーマとして、今回も多様なシンポジウムや発表がありました。山形県立保健医療大学特任教授:平山和美先生の会長講演では、脳損傷により「視覚」「体性感覚」「視覚・聴覚・体性感覚」に障害が生じたケースについて、事例を通しても講演がありました。私たちは、当事者が気づきづらい脳損傷に伴う認知機能障害(記憶、注意、遂行、社会的行動障害)への対応を中心に支援を行っています。反面、気づきやすい感覚障害に戸惑いつつ生活していく様子について、損傷部位と症状と障害認識の関係を基軸としつつ、主観的障害認識を患者自身の説明・語りから紐解いていくお話を興味深く拝聴しました。

今回の大会もコロナ禍の開催でしたが、昨年の福島大会よりも参加者が多く、病院勤務医、支援コーディネーター、研究等を一緒に行った方など、様々な方とリアルにお会いする機会となり、現状の情報交換をすることもでき、非常に有意義な大会であったと感じました。

私自身は、一般演題「支援者」の座長として参加をさせていただき、緊張のひと時を過ごさせていただきました。 (瀧澤)



	神経・筋疾患	脊髄障害	脳血管障害	骨関節疾患	後天性脳損傷 (除〈CVA)	脳性麻痺	知的障害	視覚障害	その他(切断・ 加齢等)	不明	合計
県央	8(2)	3	8(1)	2(2)		•	12(4)	4(1)	4(2)	1	42(12)
湘南東部		1			12(2)	1	7				21(2)
湘南西部	2	7(1)	4(1)		1	7(2)	4(1)	4	3		32(5)
県西	4(1)	2	2		1	2			1		12(1)
横須賀·三浦			2						3		5
合計	14(3)	13(1)	16(2)	2(2)	14(2)	10(2)	23(5)	8(1)	11(2)	1	112(20)

	障害者更生 相談所	居宅介護支援 援 事業所	市町村	地域包括 支援事業所	本人·家族	障害者 相談支援事 業所	障害者施設	医療機関	訪問看護 事業所	保健福祉 事務所	高齢者施設	訪問介護 事業所	教育機関	その他	合計
県央		4(1)	1		6	3	13(5)		2		10(5)	2(1)	1		42(12)
湘南東部					1	5	10(2)	1	3				1		21(2)
湘南西部		3(1)			7	4(1)	9(3)		5				3	1	32(5)
県西		1	1		1	2		1	5(1)					1	12(1)
横須賀·三浦				1	3	1									5
合計		8(2)	2	1	18	15(1)	32(10)	2	15(1)		10(5)	2(1)	5	2	112(20)

()の数字は訪問の件数

ジェイユーユ・

今年は、10 月 5 日(水)から 7 日(金)の3日間、 東京ビッグサイト東展示ホール の大きな会場で、リアル展が開 催されました。併せて、Web 展は9月5日(月)から11月 7日(月)まで開催されていました。参加企業342社、リアル展 の参加人数は 3 日間の累計入場者数 88,521 名、全体の PV 数は 1,899,396PV と公表されています。

昨年は、コロナの影響で、173 社 39,647 名でしたから、 倍以上の規模となっています。印象としては、感染対策の一環 と思いますが、展示ブース間の間隔が広めでとても拝見しやす い環境でした。

次回の開催については、2023 年 9 月 27 日(水)~29 日(金)の3日間行われると発表されています。次回は、50 回の節目の展示会ですので、特別なイベント等の企画を計画中 とのことですので期待は膨らみます。(磯部)

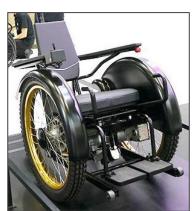
後部のフリッパーを倒して本体を支える ことで 17cm の段差も登れるそうです!





トヨタ自動車「JUU」

階段も登れる「自由」な電動車いす



SMILE PALM(株式会社サカエ工業) スマイル パーム

この商品は、カテーテルシリンジで、食 事や栄養剤を摂取する時に、押したり引 いたりする際の『手が痛い』『疲れる』と いった介助者の負担を軽減してくれる商 品です。

一見、シリンジ押すだけなのにそんなに 大変?と思われがちですが、日に複数人 の介助を何十回も行うとなると、手にか かる負担は想像よりもはるかに大きいの です。そんな声に耳を傾け、少しでも 楽に…という想いで開発したスタッフの

方のやさしさがつまった商品です。

和夢テーブル(シーホネンス株式会社)

|今回紹介するのは、後付けで上肢をのせられるテーブル です。通常のテーブルの形状では、テーブルと身体の距離が 離れるため、肘はテーブルの上にのせることができません。

この和夢テーブルは、通常のテー ブルに後付けで設置し、肘をのせる ことが可能になります。

食事を取り込む際の上肢の動きの 補助や体幹の姿勢保持に有用と考え られます!発売は、2023年春を 予定しているとのことで、ぜひ試し てみたいと思います! (小泉)



これが実用化したら・・・

今まであきらめるしかなかったあの場所へ 行けるかも…!

開発者の方は多くの 車いすユーザーに使 っていただきたいと いう想いで製作して います!

そう遠くない未来に 街で見かけるように なることを期待して います♪ (清水)





編集後記 👐 🐷

1年経つのが早い早い早い! お盆が終わったと思ったら、 もう箱根駅伝の季節です。ここ数年、夏か冬の2つの季節しか 記憶にありません(泣)。今年も残りわずか…、コロナ感染に気 をつけて元気に1年を締めくくれますように! (S・S)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516 神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター

> **a** 046-249-2602 FAX 046-249-2601

